

**【団体名】一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク**

**事業報告書**

<p>事業名</p>	<p>「パラアート地域交流サロン」開設基盤構築事業</p>
<p style="text-align: center;"><b>【計画時の事業内容】</b></p> <p><b>■「パラアート地域交流サロン」啓発イベントの開催</b>  <b>【目的】</b>                  パラアート地域交流サロンの認知・関心拡大と体感                  (各地域でのパラアート交流サロン開設に向け、リレー啓発イベントの初回として位置づける)</p> <p><b>【内容】</b>                  日時:2017年11月23日(木・祝) 14時開演(予定)                  場所:川崎授産学園・体育館                  名称:(仮)パラアートで地域交流!～コンサート奏                  内容:①障がいを持った方々と地域居住者による音楽演奏                  ・コーラス奏(川崎授産学園の利用者と地域居住者で構成されるコーラス隊)                  ・アンサンブル響(重症児・者福祉医療施設「ソレイユ川崎」の利用者と地域居住者で構成される器楽アンサンブル演奏)                  ・フルートアンサンブルで社会貢献(市内で音楽によるソーシャル啓発を推進する市民演奏団体)                  ・音楽交流サロン「奏」レギュラーメンバー(歌・ピアノ・フルート・ヴァイオリン・サクソ・打楽器など)                  ・合同演奏:出演者全員(スメタナ「モルダウの流れ」を編曲し、器楽&amp;合唱で演奏) ほか</p> <p>②パラアート及びパラアート地域交流サロン啓発企画                  ・パラアート及びパラアート地域交流サロンの紹介(説明チラシ配布)                  ・「パラアート地域交流ファシリテーター入門講座(ワークショップ)」(後述)の募集ご案内 ほか</p> <p>③メディア(大手新聞、タウンニュースほか)への取材依頼による記事掲載</p> <p><b>■パラアート地域交流サロンの各地開設に向けた啓発活動</b>  <b>【目的】</b>                  障害者支援施設など、各施設等でのパラアート地域交流サロン開設の関心拡大  <b>【内容】</b>                  ①啓発(ご案内)パンフレット制作・配布                  内容:川崎授産学園と共催の「音楽交流サロン奏」やソレイユ川崎との「響」での活動紹介を通じて、障がいを持った方々が「人と人を繋げる」役割を持って推進する、パラアート地域交流サロン開設を啓発すべく、サロン参加者の声(障がい者、地域住民、施設職員など)などを中心に掲載</p>	<p style="text-align: center;"><b>【実施結果(成果)】</b></p> <p><b>■「パラアート地域交流サロン」啓発イベントの開催</b>  <b>【実施内容】</b>                  日時:2017年11月23日(木・祝) 13時30分開演                  場所:川崎授産学園・体育館                  名称:コンサート奏～パラアートで地域交流の輪を広げよう!                  プログラム:                  ●<b>第1部 市民企画スペシャル</b>                  [コーラス奏](川崎授産学園利用者+地域市民:歌)                  おまつり/村祭、奏詩～いまここに、ドレミの歌                  [新井ファミリー](地域市民:アルプホルン、カウベル等)                  エンゲルベルエコー、ベルナー、ヨハン大公                  [レ・ポレアード](地域市民:リコーダーアンサンブル)                  アメージンググレース、浜辺の歌、スペインのパヴァーヌ、ソナタイ短調より第1楽章、カンタータ 140                  [コーラス リリーズ](地域市民:歌)                  紅葉、花は咲く、切手のない贈り物                  [フルートアンサンブルで社会貢献](地域市民:フルート)                  アイネ・クライネ・ナハトムジーク(全4楽章)</p> <p>●<b>第2部 レギュラーメンバーによるスペシャル演奏</b>                  [ビゼー「カルメン」より]                  闘牛士の行進、ハバネラ、セギディーリャ、ジプシーの歌、闘牛士の歌、第3幕への前奏曲、ミカエラのアリア、終曲(「闘牛士の歌」より)</p> <p>●<b>第3部 パラアートでパラムーブメント</b>                  [かわさきパラムーブメント オリジナル メッセージソング]                  「みんなで(手を)繋いで」(作詞:加藤孝子、作曲:大川知子)                  [アンサンブル“響”(ソレイユ川崎利用者+地域市民)]                  星に願いを、アフリカンシンフォニー                  [オーケストラ奏](主要出場者による大編成演奏)                  スメタナ「モルダウの流れ」(オーケストラ奏 特別版)                  [みんなで演奏](出演者、来場者とともに演奏)                  ラデッキー行進</p> <p>動員数:約200名                  その他:タウンニュース麻生区版に記事掲載される</p> <p><b>■パラアート地域交流サロンの各地開設に向けた啓発活動</b>  <b>【実施内容】</b>                  ①「パラアート地域交流サロンでノーマライゼーション」パンフレットの制作・配布                  [仕様]A3/2つ折り、フルカラー印刷、1,000部                  [配布先]                  (下記障害者支援福祉施設には郵送)                  たじま家庭支援センター、百合ヶ丘地域生活支援センターゆりあす、川崎市ふじみ園、こぶし園、小向このはな園、障害者支援施設みやうち、白揚園、桜の風、第1やまぶき、第2やまぶき、わかたけ作業所、あかしあ園、川崎市れいんぼう川崎、あー</p>

仕様: A3/2つ折り、フルカラー印刷、1,000 部  
配布先: 市内の障害者支援福祉施設、養護学校、パラ  
ート地域交流ファシリテーター関心者など

②問い合わせ対応及び有力候補先・依頼先へのアプ  
ローチ

内容: ①での配布先からの問い合わせ対応しつつ、川崎授  
産学園石井学園長がリストアップして下さった市内の  
障害者支援施設の中での有力候補先(17 施設)と  
ソレイユ川崎の担当職員から依頼されている、同法  
人が運営する障害者支援施設「みずさわ」(宮前区)  
へのアプローチを推進。

■パラアート地域交流ファシリテーター入門講座(ワークショ  
ップ)の開催(@川崎授産学園/ソレイユ川崎)

【目的】

パラアートによる地域交流に関心があり、推進したいと考え  
る人達のコミュニティ形成と人材育成

【内容】

- ・市内の障害者支援施設の協力のもと、ボランティア活動を  
されている人たちを中心に参加を呼びかけ
- ・弊団の推進ノウハウや参加者の経験を相互活用し、各地  
域でのパラアート交流推進策を検討
- ・2018 年 1 月に第 1 回開催を予定(翌年度以降も継続開  
催予定とする)

る工房、多摩川あゆ工房、KFJ 多摩はなもも、  
KFJ 多摩はなみずき、百合ヶ丘日中活動センタ  
ー、みずさわ、計 19 箇所  
(川崎市内障害者支援施設長会議にて配布)  
・200 部(配布協力:川崎授産学園)  
(訪問時に配布)  
・1 部(アトリエ言の葉)

②問い合わせ対応及び有力候補先・依頼先へのアプ  
ローチ

[訪問先]

たじま(川崎区)、みずさわ(宮前区)、アトリエ言の葉  
(宮前区)

[打診あり]

- ・川崎区地域見守り支援センター
- ・NPO 法人療育ねっとわーく川崎(多摩区)

■パラアート地域交流ファシリテーター入門講座(ワークショ  
ップ)の開催

名称:パラアート地域交流ファシリテーター入門講座

パラアート地域交流サロンで地域ノーマライゼーション  
のススメ

～ 川崎授産学園・音楽交流サロン「奏」の事例とグ  
ループディスカッション ～

日時:2 月 5 日(月)18 時 00 分～20 時 30 分

場所:かわさき市民活動センター会議室

講師:江口義実(ソーシャル・アーティスト・ネットワーク代表理事)

参加者:

- ・川崎授産学園 市民交流事業 和地氏
- ・ソレイユ川崎 飯干氏
- ・たじま 小柴氏
- ・ボランティア 樽井氏、石岡氏
- ・川崎市市民文化局 山本氏、白石氏

【内容】

- ・地域、施設、利用者におけるコミュニケーション課題
- ・訪問演奏の功罪
- ・音楽交流サロン「奏」での利用者における役割、地域  
参加者の声
- ・グループディスカッション

## 【事業の実施効果】

### ■「パラアート地域交流サロン」の認知・関心の拡大を図ることができる

#### ① 地域(麻生区)への認知・関心拡大

- ・イベント開催による集客(川崎授産学園をはじめとする近隣地域の障害者支援施設や栗木台地域包括支援センターなどの協力)での地域啓発の推進
- ・地域メディア発信(タウンニュース麻生区版、メディアさお等)での地域啓発の推進

#### ② 市内一般への認知・関心拡大

- ・大手メディアへの発信(東京新聞、朝日新聞など)での市内啓発の推進
- ・市内の各障害者支援施設などへのパラアート地域交流サロン開設ご案内パンフレットの配布
- ・サロン開設有力候補先(川崎授産学園石井学園長のリストアップ先、及びソレイユ川崎の担当職員から紹介されている「みずさわ」など)には直接コンタクトし、意見や情報交換を図る

### ■「パラアート地域交流サロン」推進の基盤醸成を図ることができる

- パラアート地域交流ファシリテーター入門講座(ワークショップ)開催での人材育成・コミュニティ化
- 音楽交流サロン「奏」で培った地域交流サロン推進ノウハウを伝えつつファシリテーターに関心のある人々との意見交換や情報交換を進め、新規開設する交流サロン推進者としての人材育成とそのコミュニティ化を図る

## 【実際の効果と課題】

### ■「パラアート地域交流サロン」の認知・関心の拡大

#### ① 地域(麻生区)への認知・関心拡大

- ・コンサート奏の開催により、動員数が約 200 名となり、盛大な会となった。さらに、レギュラー開催している音楽交流サロン「奏」を知らない人達への認知拡大につながった
- ・タウンニュース麻生区版に記事が掲載された
- ・栗木台地域包括支援センターより、麻生区細山地区の高齢者クラブ「美寿会」の「美寿会のあり方検討会(細山地域ケア圏域会議)」が開催(3月10日開催)されることになり、細山町会、民生委員、細山地域サロン、麻生区地域見守り支援センター、とともに参加要請があり、パラアート地域交流サロン(音楽交流サロン「奏」)の認知・参加者拡大につながる機会を得た

#### ② 市内一般への認知・関心拡大

- ・市内の各障害者支援施設などへのパラアート地域交流サロン開設ご案内パンフレットを配布し、市内の施設との意見情報交換を実施できた
- ・川崎区地域見守り支援センターより、同区の地域課題対応事業申請の打診があった
- ・多摩区の NPO 法人療育ねっとわーく川崎より、8 月開催予定の音楽イベントへの参加要請があった

### ■「パラアート地域交流サロン」推進の基盤醸成と課題

#### ○イベント・講座等実施で他施設との繋がりを図れた

- ・川崎区 たじま
- ・宮前区 みずさわ、アトリエ言の葉
- ・多摩区 NPO 法人療育ねっとわーく川崎

#### ○各施設(訪問時情報交換)から見受けられる課題

##### ① 各施設の状況(ヒアリングまとめ)

- ・利用者に単にアート経験をさせるというのは一過性に過ぎず、その経験に人(地域、ボランティア)との交流(協同)が伴うことが大切で、地域の繋がりにも寄与する
- ・地域交流をしている利用者は表情も明るく、自立心も芽生え、周辺地域の理解も向上する
- ・新しい施設のため、職員と地域との交流が図れていない
- ・地域交流は単発のイベントやボランティア来所という形しかできてない
- ・専任者を置くことができないため外部の協力が必要であるが現業優先で中々実施に至らない
- ・施設自体、ある程度歴史があるので職員と地域の交流ができていないものの、業務に追われ、利用者との交流が図れていない

- ・利用者地域との交流推進は、職員個人の士気に依存し属人化する傾向にあるため、その職員が異動してしまうと、全てがストップしてしまう
- ・利用者の知的障害の度合いが軽度の場合は、自立的にアート活動が可能であるが、そのような活動の場は市内には少ない

## ② 「パラアート地域交流サロン」推進の今後の方向性

- ・川崎区地域見守り支援センターからの「地域課題対応事業」についての検討打診があったことから、同区の関心は高いと考えられる。また、同区の「たじま」における「パラアート地域交流サロン」推進の関心の高さもあったため、川崎区での推進から始めるべきと考えている
- ・宮前区の「みずさわ」についても利用者地域との交流課題を認識しているため、引き続き検討を図っていく

## ③ パラアート地域交流サロンの今後の課題

- ・パラアート地域交流サロンの重要性は確認でき、今回コンタクトできなかった他施設での期待も想像できるが、いざにせよ、それを構築・推進のための資源が必要である

### i) 資金調達

初期立ち上げ資金、及び会費・寄付による事業運営に至るまでの間の資金が必要となる

- ・事業管理：主に広報関連費、人件費など
- ・音楽分野：楽譜・楽器・譜面台・音響設備など
- ・美術分野：用具・画材・展示備品など

### ii) 推進する人材と体制

- ・アートは技能が伴うため専門家が必要となるが、パラアートを理解し推進できる専門家は多くないため、そのような人材の確保及び育成が必要
- ・障害者支援施設のニーズ・認識は高いが、現状を鑑み、最小限の業務負担での共同推進が望ましい
- ・事業運営は（一部でも）地域市民への協力が必要

### iii) 地域協力

- ・自治会等の協力・連携が必要であり、特に新しい施設は地域との関係構築から進めていく必要がある

### iv) 推進啓発

- ・継続的な啓発活動が必要（啓発イベント開催）
- ・啓発ツールが必要（今回 PR オリジナル動画を試作）